



ゼロアスベスト製品

# カチモルハード

昭和電工建材のプレミックスモルタルは  
全て、石綿や石綿関連の素材を一切含ま  
ないゼロアスベスト製品です

**断面修復用ポリマーセメントモルタル**

**高強度コンクリート構造物 欠損部補修**

**粉末樹脂入り(カチオン系)プレミックスモルタル**



日本建築仕上材工業会登録	
商 品 名	カチモルハード
表 示 登 録 番 号	0706003
ホルムアルデヒド 放散等級区分表示	F☆☆☆☆
製 造 業 者 等 名 称	昭和電工建材株式会社
ロ ッ ト 番 号	梱包に表示
問 い 合 わ せ 先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>

本製品は、JCQAによりISO9001認証  
された製造事業所によりつくられています

SHOWA DENKO KENZAI K.K.

「カチモルハード」は、高強度コンクリート構造物の欠損部補修・断面修復用として開発された特殊粉末樹脂(カチオン系)を配合したプレミックスモルタルです。

## 高強度コンクリート構造物(欠損部)補修に最適なモルタル「カチモルハード」とは?

●試験は、日本建築学会1997年「鉄筋コンクリート造建築物の耐久性調査・診断および補修指針(案)・解説」の付 1.1 断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)による。

### 1. 圧縮強度50N/mm<sup>2</sup>・付着強度2N/mm<sup>2</sup>以上の「高強度モルタル」です。

#### ■ 強度：圧縮・曲げ・付着（材齢 28日）

圧縮強度	59.6 N/mm <sup>2</sup>
曲げ強度	12.1 N/mm <sup>2</sup>
付着強度	2.5 N/mm <sup>2</sup>

### 2. 欠損部補修に最適なモルタルです。

#### ■ 長さ変化・吸水量（材齢 28日）

長さ変化	0.098 %
吸水量	8.5 g

### 3. 付着強度を向上させるために、高性能「カチオン系粉末樹脂」を配合しています。

#### ■ 付着耐久性

標準養生	2.5 N/mm <sup>2</sup>
温冷繰り返し後	2.2 N/mm <sup>2</sup>

### 4. 作業性が良く、簡単に施工できます。

※記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。

## 標準施工面積・荷姿

### 【カチモルハード】

荷姿	適用部位	適用仕上げ	標準調合	塗厚	標準施工面積	練り上がり量
20kg 防湿紙袋	コンクリート欠損部 モルタル欠損部	仕上げ塗り材 陶磁器質タイル 塗り床 等	清水 約3.2ℓ	5~60mm	約0.55m <sup>2</sup> (20mm厚)	約11ℓ/袋

### 【専用プライマー】

品名	荷姿	標準使用量	標準施工面積
ハイモル®エマルジョン	4kg/缶	0.1kg/m <sup>2</sup> ※5倍液	約200m <sup>2</sup>
	18kg/缶		約900m <sup>2</sup>

## 施工方法

- 1 下地処理** ● 下地面のレイトンス、脆弱層、油分、汚れ等を、ワイヤブラシ、サンダー掛け等で適切に除去してください。  
● 鉄筋が露出して発錆している場合は、ワイヤブラシ、研磨紙等で除去し、防錆処理をしてください。

- 2 プライマー塗布 (吸水調整材)** ● 下地乾燥後、必ずプライマーとしてハイモル®エマルジョン5倍液を刷毛でむらなく塗布してください。

- 3 混練** ● **混練水比**  
カチモルハード20kg袋に対し約**3.2ℓ**の水を加え、ハンドミキサー等で泡の巻き込みや固まりができないように3分以上混練してください。

#### ⊘ 禁止

- ・強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。
- ・加水後の材料は、夏季40分以内、冬季60分以内に使い切り、練り足し、水を加えての練り直しは避けてください。

- 4 塗り付け** ● 下地に対し鍍圧を十分にかけ、厚さ「2~3mm」程度でガリッと摺り込むように塗り付けた後、所定の厚さになるように塗り付けてください。  
● 塗厚の目安は、1日あたり30mmを限度として1回あたり5~10mmの間で塗り重ねてください。

#### ⚠ 注意

- ・塗厚30mmを越える場合には、2日以上に分けて塗り付けてください。その際の工程間隔は、夏季1日以上、冬季3日以上を目安としてください。
- ・壁で深さ60mm以上あるいは0.3m<sup>2</sup>以上、または上げ裏施工の場合には、ステンレスアンカーピン、ステンレス線を併用してください。
- ・用途につきましてご不明な点がございましたら、施工前に必ず当社へご相談ください。

- 5 養生** ● 仕上げ材施工までの養生期間は、7日(冬季 10日)以上としてください。  
● 通風や日射による早期乾燥を防止するため、必要に応じてシート養生、散水養生を行ってください。

#### ⚠ 注意

- ・施工後、降雨、降雪のおそれがある場合は、強度不足、白華(エフロ)の原因となりますので、シート掛け等を行ってください。

- 6 施工上の注意事項** ● 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適切な保温、採暖を行ってください。  
● 現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けてください。  
● 雨露のかからない湿気の少ない所に保管し、地面に直接放置しないでください。  
● 購入された材料は、製造日から4か月以内に使用しきってください。

## 性能試験結果

試験項目	試験結果	日本建築学会1997年「断面修復用ポリマーセメントモルタル」の品質基準(案)
単位容積質量 (kg/ℓ)	2.1	—
曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	12.1	6.0 以上
圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	材齢 7日	45.0
	材齢 28日	59.6
付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	標準養生	2.5
	温冷繰り返し後	2.2
吸水量 (g)	8.5	20.0 以下
透水量 (ml/hr)	0.3	0.5 以下
長さ変化 (%)	0.098	0.15 以下

試験場所：財団法人 ベターリビング

試験方法：日本建築学会1997年「鉄筋コンクリート造建築物の耐久性調査・診断および補修指針(案)・解説」の付 1.1 断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)による。

※記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。

## 注意事項

### 〈使用上の注意〉

- 取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後はうがい及び手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。

### 〈応急処置〉

- 目に入った場合：直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合：直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 誤飲した場合：多量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

### 〈保管上の注意〉

#### 〔粉体〕

- 雨露のかかからない湿気の少ないところに保管し、地面に直接放置しないでください。
- 購入された材料は、製造日から4か月以内に使用しきってください。

#### 〔プライマー〕

- 凍結や直射日光を避ける為に必ず室内(5~40℃)に保管してください。
- 開封後の使用残は密封した状態で保管してください。

### 〈輸送上の注意〉

- 内容物の漏れが無い事を確認し、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水濡れに注意してください。

### 〈廃棄上の注意〉

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

### 〈漏出時の注意〉

- 飛散した粉体は掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め袋などに回収してください。
- 流出したプライマーは流路を毛布、土嚢等を用いてせき止め、バキューム等で吸い上げるか、少量の場合はおが屑、ウエス、乾燥砂等に吸収させて回収し焼却してください。
- 粉体が混合した排水は中和、希釈処理などを行い、河川等に直接流出しないようにしてください。

### 〈環境への配慮〉

- プライマーが海、河川、湖沼、池、下水道、公共用水域へ流入すると、広範囲にわたって汚濁汚染することとなるので、絶対に廃棄したり誤って流入させないでください。万が一流入した場合は地方自治体の担当者に直ちに連絡してください。また、地下水を汚染するおそれのある地中には捨てないでください。

このカタログの記載内容は'18.11月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。カタログに記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。

## 昭和電工建材株式会社

■ 本社・建設資材営業部 〒221-8517 横浜市神奈川区恵比須町8番地 TEL(045)444-1691 FAX(045)444-1699 <http://www.sdk-k.com>

■ 仙台営業所	〒983-0841	仙台市宮城野区原町3-7-14	TEL(022)742-5077	FAX(022)291-1911
■ 名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄3-11-23	TEL(052)249-3151	FAX(052)249-3152
■ 大阪営業所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島6-5-3	TEL(06)6100-2202	FAX(06)6100-1232
■ 福岡営業所	〒812-0025	福岡市博多区店屋町5-22	TEL(092)281-9881	FAX(092)281-9885
■ 関東SCMセンター	〒120-0024	足立区千住関屋町1-4	TEL(03)3881-5001	FAX(03)3870-3952
■ 東北SCMセンター	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町1-7-2	TEL(022)231-2070	FAX(022)231-2073
■ 中部SCMセンター	〒452-0837	名古屋市西区十方町172	TEL(052)501-2421	FAX(052)501-2424
■ 関西SCMセンター	〒567-0058	茨木市西豊川町14-3	TEL(072)641-6399	FAX(072)641-6401

■ ISO 9001 品質マネジメントシステム登録事業所